

確認する研究であれば、必ず付きまとう問題であろう。しかし、薬物使用のセルフレポートに関する信頼性・妥当性に問題がないことは、複数の研究で検証されている<sup>24,25)</sup>。さらにオランダのレイブパーティにおけるMDMA研究によれば、激しい照明と音響の非日常的な雰囲気、そしてアルコール・薬物使用による影響が懸念されるクラブ内であってもデータは信頼できると報告されている<sup>16)</sup>。

以上のような限界を考慮しなければならぬ研究とはいえ、薬物乱用リスクが高いクラブ利用者層の実態の一端を捉えた本研究は、薬物乱用・依存の予防対策を考える上で、様々な示唆を得ることができる意義のある研究と考えられる。

#### E. 結論

クラブ利用者層におけるMDMA等クラブドラッグの薬物乱用状況を把握することを目的に、関東地方2店舗のクラブイベント来場者208名を対象にパソコンを用いた実態調査を実施し、以下の知見を得た。

- 1) 対象者の中心は20代、高学歴者であった。
- 2) 生涯経験率は、大麻32.7%、MDMA9.1%、LSD8.2%、コカイン5.8%、ケタミン3.8%であった。
- 3) 過去1年経験率は、大麻20.0%、LSD2.9%、コカイン2.9%、覚せい剤1.9%であった。
- 4) MDMA使用群は非使用群に比べ、他の薬物使用経験率や問題飲酒経験率が高く、アルコールや多剤との併用による健康被害が多く、ダンスフロア・ラウンジといった場所での薬物使用経験率が有意に高かった。
- 5) クラブ内の個室利用者は非利用者に比べ、女性の割合が高く、クラブ利用頻度が高く、薬物使用経験率や問題飲酒経験率が有意に高かった。

現在の乱用状況をより強く反映している過去1年経験率によれば、クラブ利用者層にお

いては大麻が最も使用され、MDMAよりもLSDやコカインが流行している可能性が示唆される。MDMAは錠剤型の合成麻薬であるため、ダンスフロア・ラウンジといった人目に付きやすい場所での使用を可能としているのかもしれない。MDMA使用者においては、薬物使用に伴う健康被害も報告されていることから、クラブ利用者層に向けた薬物乱用・依存の予防介入が求められよう。また個室利用者は、クラブ利用者層におけるアルコール・薬物乱用のハイリスク群と捉えることができるかもしれない。

#### F. 参考文献

- 1) Forsyth AJ. Places and patterns of drug use in the Scottish dance scene. *Addiction* 1996; 91:511-21.
- 2) Lenton S, Boys A, Norcross K. Raves, drugs and experience: drug use by a sample of people who attend raves in Western Australia. *Addiction* 1997; 92:1327-37.
- 3) Peroutka SJ, Newman H, Harris H. Subjective effects of 3, 4-methylenedioxymethamphetamine in recreational users. *Neuropsychopharmacology* 1988; 1:273-7.
- 4) Screamon GR, Singer M, Cairns HS, Thrasher A, Sarner M, Cohen SL. Hyperpyrexia and rhabdomyolysis after MDMA ("ecstasy") abuse. *Lancet* 1992; 339:677-8.
- 5) Tehan B, Hardern R, Bodenham A. Hyperthermia associated with 3, 4-methylenedioxyamphetamine ('Eve'). *Anaesthesia* 1993; 48:507-10.
- 6) Nihira M, Hayakawa H, Yamada T et al. Analysis of MDMA and PCP by GC-MS from patients admitted to the critical care medical center. *Chudoku Kenkyu* 2002; 15:47-52 (in Japanese).
- 7) Kuwahara T, Nakakura T, Oda S et al.

- Problems in three Japanese drug users with Human Immunodeficiency Virus infection. *J Med Invest* 2008; 55:156-60.
- 8) Asamura H, Kobayashi K, Ito M et al. A case of fatal intoxication with MDMA. *Research and Practice in Forensic Medicine* 2006; 49:69-72 (in Japanese).
  - 9) Mizukami H, Kato Y, Nagai T et al: Evaluation of five autopsy cases in which 3, 4-methylenedioxyamphetamine (MDMA) was detected. *Research and Practice in Forensic Medicine* 2008, 51:125-130 (in Japanese).
  - 10) Sano R, Hasuike T, Nakano M, Kominato Y, Itoh H. A fatal case of myocardial damage due to misuse of the "designer drug" MDMA, *Legal medicine* 2009; 11:294-297.
  - 11) Rome ES.: It's a rave new world: rave culture and illicit drug use in the young. *Cleve Clin J Med.* 2001 ;68(6):541-50.
  - 12) Gahlinger PM.: Club drugs: MDMA, gamma-hydroxybutyrate (GHB), Rohypnol, and ketamine. *Am Fam Physician.* 2004 ;69(11):2619-26.
  - 13) Gross SR, Barrett SP, Shestowsky JS, Pihl RO. Ecstasy and drug consumption patterns: a Canadian rave population study. *Can J Psychiatry* 2002; 47:546-51.
  - 14) Grov C, Kelly BC, Parsons JT. Polydrug use among club-going young adults recruited through time-space sampling. *Subst Use Misuse* 2009; 44:848-64.
  - 15) Barrett SP, Gross SR, Garand I, Pihl RO. Patterns of simultaneous polysubstance use in Canadian rave attendees. *Subst Use Misuse* 2005; 40:1525-37.
  - 16) M ter Bogt TF, Engels RC. "Partying" hard: party style, motives for and effects of MDMA use at rave parties. *Subst Use Misuse* 2005; 40:1479-502.
  - 17) 木原雅子、他：都会の若者に対するクラブイベント調査、平成 13 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染症の動向と予防介入に関する社会疫学的研究」、p269-278,2001.
  - 18) 木村博和、他：東京の予防啓発の評価に関する研究-2009 年東京クラブ調査報告-平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）「男性同性間の HIV 感染対策とその介入効果に関する研究」研究報告書. P170-181, 2010.
  - 19) 和田清、他：薬物使用に関する全国住民調査（2009 年）. 平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）「薬物乱用・依存等の実態把握と再乱用防止のための社会資源等の現状と課題に関する研究」研究報告書. Pp15-96, 2010.
  - 20) 松本俊彦、他：全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査、平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業) 分担研究報告書、89-115,2011
  - 21) 厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課：麻薬・覚醒剤行政の概況,2011.
  - 22) Arria AM, Yacoubian GS Jr, Fost E, Wish ED.: The pediatric forum: ecstasy use among club rave attendees. *Arch Pediatr Adolesc Med.* ;156(3):295-6. 2002.
  - 23) Banta-Green C, Goldbaum G, Kingston S, Golden M, Harruff R, Logan BK.: Epidemiology of MDMA and associated club drugs in the Seattle area. *Subst Use Misuse.*;40:1295-315. 2005.
  - 24) Calhoun PS, Sampson WS, Bosworth HB et al. Drug use and validity of substance use self-reports in veterans seeking help for posttraumatic stress disorder. *J Consult Clin Psychol* 2000; 68:923-7.
  - 25) Napper LE, Fisher DG, Johnson ME, Wood MM. The reliability and validity of drug users' self reports of amphetamine use

among primarily heroin and cocaine users.  
Addict Behav 2010; 35:350-4.

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

嶋根卓也：思春期における薬物乱用の実態と対策,産婦人科治療 103(2),144-150,2011.

嶋根卓也：思春期における薬物乱用の実態と予防, 思春期学 29(1),13-18,2011.

嶋根卓也：薬剤師から見た向精神薬の過量服薬,精神科治療学 27(1),87-93,2012.

松本俊彦、嶋根卓也、尾崎茂、小林桜児、和田清：乱用・依存の危険性の高いベンゾジアゼピン系薬剤同定の試み、精神医学 54(2);201-209,2012.

### 2. 学会発表

嶋根卓也、日高庸晴：クラブカルチャーとの親和性と MDMA 使用との関連. 第 70 回日本公衆衛生学会総会、秋田、2011.10.19-21.

## I. 知的財産権の出願・登録状況

特許取得、実用新案登録、その他  
特になし。

表1.クラブ利用者の基本属性(性別)

	男性 n=125 n (%)	女性 n=83 n (%)	合計 n=208 n (%)	p-value
年代				0.062
～24歳	33 (26.4)	30 (36.1)	63 (30.3)	
25～29歳	62 (49.6)	27 (32.5)	89 (42.8)	
30～34歳	23 (18.4)	23 (27.7)	46 (22.1)	
35歳～	7 (5.6)	3 (3.6)	10 (4.8)	
最終学歴				0.067
中学校卒業	20 (16.0)	6 (7.2)	26 (12.5)	
高校卒業	38 (30.4)	29 (34.9)	67 (32.2)	
専門・短大・大学卒業	64 (51.2)	41 (49.4)	105 (50.5)	
大学院卒業	3 (2.4)	7 (8.4)	10 (4.8)	
非行行動の履歴(生涯)				
暴力の加害経験	40 (32.0)	12 (14.5)	52 (25.0)	0.005
暴力の被害経験	36 (28.8)	23 (27.7)	59 (28.4)	1.000
いじめの加害経験	32 (25.6)	18 (21.7)	50 (24.0)	0.620
いじめの被害経験	26 (20.8)	28 (33.7)	54 (26.0)	0.052
暴走行為	29 (23.2)	9 (10.8)	38 (18.3)	0.028
万引き	51 (40.8)	28 (33.7)	79 (38.0)	0.312
器物損壊	29 (23.2)	10 (12.0)	39 (18.8)	0.048
上記のいずれも経験がない	33 (26.4)	27 (32.5)	60 (28.8)	0.352

表2.クラブ利用者の基本属性(年代別)

	～24歳 n=63 n (%)	25～29歳 n=89 n (%)	30～34歳 n=46 n (%)	35歳～ n=10 n (%)	合計 n=208 n (%)	p-value
最終学歴						0.013
中学校卒業	9 (14.3)	8 (9.0)	8 (17.4)	1 (10.0)	26 (12.5)	
高校卒業	31 (49.2)	20 (22.5)	13 (28.3)	3 (30.0)	67 (32.2)	
専門・短大・大学卒業	20 (31.7)	56 (62.9)	24 (52.2)	5 (50.0)	105 (50.5)	
大学院卒業	3 (4.8)	5 (5.6)	1 (2.2)	1 (10.0)	10 (4.8)	
非行行動の履歴(生涯)						
暴力の加害経験	24 (38.1)	19 (21.3)	7 (15.2)	2 (20.0)	52 (25.0)	0.034
暴力の被害経験	19 (30.2)	24 (27.0)	13 (28.3)	3 (30.0)	59 (28.4)	0.972
いじめの加害経験	20 (31.7)	16 (18.0)	12 (26.1)	2 (20.0)	50 (24.0)	0.257
いじめの被害経験	17 (27.0)	19 (21.3)	16 (34.8)	2 (20.0)	54 (26.0)	0.392
暴走行為	12 (19.0)	12 (13.5)	13 (28.3)	1 (10.0)	38 (18.3)	0.189
万引き	24 (38.1)	34 (38.2)	16 (34.8)	5 (50.0)	79 (38.0)	0.851
器物損壊	18 (28.6)	13 (14.6)	7 (15.2)	1 (10.0)	39 (18.8)	0.143
上記のいずれも経験がない	16 (25.4)	29 (32.6)	13 (28.3)	2 (20.0)	60 (28.8)	0.759

表3.クラブ利用者の基本属性(最終学歴別)

	中学校 n=26 n (%)	高校 n=67 n (%)	専門・大学 n=105 n (%)	大学院 n=10 n (%)	合計 n=208 n (%)	p-value
非行行動の履歴(生涯)						
暴力の加害経験	9 (34.6)	19 (28.4)	22 (21.0)	2 (20.0)	52 (25.0)	0.423
暴力の被害経験	9 (34.6)	22 (32.8)	26 (24.8)	2 (20.0)	59 (28.4)	0.535
いじめの加害経験	6 (23.1)	22 (32.8)	21 (20.0)	1 (10.0)	50 (24.0)	0.208
いじめの被害経験	6 (23.1)	19 (28.4)	27 (25.7)	2 (20.0)	54 (26.0)	0.945
暴走行為	12 (46.2)	14 (20.9)	10 (9.5)	2 (20.0)	38 (18.3)	<0.001
万引き	8 (30.8)	26 (38.8)	41 (39.0)	4 (40.0)	79 (38.0)	0.894
器物損壊	5 (19.2)	18 (26.9)	15 (14.3)	1 (10.0)	39 (18.8)	0.203
上記のいずれも経験がない	3 (11.5)	22 (32.8)	34 (32.4)	1 (10.0)	60 (28.8)	0.079

表4.アルコール・薬物の使用状況(性別)

	男性 n=125 n (%)	女性 n=83 n (%)	合計 n=208 n (%)	p-value
<b>クラブでの問題飲酒行動(過去1年間)</b>				
イッキ飲みをした	60 (48.0)	38 (45.8)	98 (47.1)	0.778
フラフラに酔いつぶれた	53 (42.4)	42 (50.6)	95 (45.7)	0.259
飲み過ぎて、嘔吐した	50 (40.0)	36 (43.4)	86 (41.3)	0.668
飲み過ぎて、記憶をなくした	44 (35.2)	33 (39.8)	77 (37.0)	0.558
急性アルコール中毒で、救急車で運ばれた	3 (2.4)	3 (3.6)	6 (2.9)	0.685
<b>薬物使用経験(生涯)</b>				
大麻	48 (38.4)	20 (24.1)	68 (32.7)	0.035
MDMA	15 (12.0)	4 (4.8)	19 (9.1)	0.090
覚せい剤	5 (4.0)	1 (1.2)	6 (2.9)	0.405
ケタミン	8 (6.4)	0 (0.0)	8 (3.8)	0.023
有機溶剤	6 (4.8)	1 (1.2)	7 (3.4)	0.247
コカイン	11 (8.8)	1 (1.2)	12 (5.8)	0.030
LSD	15 (12.0)	2 (2.4)	17 (8.2)	0.018
フルニトラゼパム	2 (1.6)	1 (1.2)	3 (1.4)	1.000
その他	5 (4.0)	1 (1.2)	6 (2.9)	0.405
いずれかの薬物経験あり	54 (43.2)	23 (27.7)	77 (37.0)	0.023
<b>薬物使用経験(過去1年間)</b>				
大麻	30 (24.0)	12 (14.5)	42 (20.0)	0.093
MDMA	2 (1.6)	0 (0.0)	2 (1.0)	0.247
覚せい剤	4 (3.2)	0 (0.0)	4 (1.9)	0.100
ケタミン	2 (1.6)	0 (0.0)	2 (1.0)	0.247
有機溶剤	2 (1.6)	0 (0.0)	2 (1.0)	0.247
コカイン	6 (4.8)	0 (0.0)	6 (2.9)	0.043
LSD	5 (4.0)	1 (1.2)	6 (2.9)	0.238
フルニトラゼパム	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	—
<b>薬物使用のタイミング(クラブとの関係)*1</b>				
クラブに行く前に使う	29 (53.7)	6 (26.1)	35 (45.5)	0.044
クラブにいる間に使う	22 (40.7)	7 (30.4)	29 (37.7)	0.450
クラブで遊んだ後に使う	15 (27.8)	2 (8.7)	17 (22.1)	0.078
クラブとは関係ないタイミングで使う	28 (51.9)	12 (52.2)	40 (51.9)	1.000
<b>クラブ内での使用場所*1</b>				
ダンスフロア	12 (22.2)	0 (0.0)	12 (15.6)	0.014
ラウンジ	6 (11.1)	0 (0.0)	6 (7.8)	0.170
トイレ	15 (27.8)	1 (4.3)	16 (20.8)	0.029
個室(VIPルームなど)	7 (13.0)	4 (17.4)	11 (14.3)	0.724
バーカウンター近辺	2 (3.7)	0 (0.0)	2 (2.6)	1.000
その他	10 (18.5)	3 (13.0)	13 (16.9)	0.744
<b>薬物使用に伴うポジティブな症状(生涯)*1</b>				
音が良く聞こえるようになった	36 (66.7)	9 (39.1)	45 (58.4)	0.042
気分が高まり、テンションが上がった	25 (46.3)	12 (52.2)	37 (48.1)	0.804
幸せで、穏やかな気持ちになった	19 (35.2)	8 (34.8)	27 (35.1)	1.000
セックスの快感が高まった	17 (31.5)	6 (26.1)	23 (29.9)	0.787
<b>薬物使用に伴うネガティブな症状(生涯)*1</b>				
幻覚(幻聴や幻視)が現れた	12 (22.2)	3 (13.0)	15 (19.5)	0.531
量を使い過ぎて、具合が悪くなった	8 (14.8)	5 (21.7)	13 (16.9)	0.513
複数の薬物を同時に使って具合が悪くなった	5 (9.3)	1 (4.3)	6 (7.8)	0.663
アルコールと一緒に使って、具合が悪くなった	5 (9.3)	0 (0.0)	5 (6.5)	0.314
パニック状態になった	4 (7.4)	1 (4.3)	5 (6.5)	1.000
<b>薬物使用に対する不安・心配*1</b>				
警察に対する不安	18 (33.3)	8 (34.8)	26 (33.8)	1.000
周囲の人間の視線に対する不安	17 (31.5)	6 (26.1)	23 (29.9)	0.787
薬物依存に対する不安	6 (11.1)	2 (8.7)	8 (10.4)	1.000
離脱症状に対する不安	6 (11.1)	0 (0.0)	6 (7.8)	0.170
多剤乱用による健康被害に対する不安	2 (3.7)	1 (4.3)	3 (3.9)	1.000
耐性に対する不安	2 (3.7)	0 (0.0)	2 (2.6)	1.000
幻覚や妄想に対する不安	4 (7.4)	2 (8.7)	6 (7.8)	1.000
アルコールとの併用に対する不安	2 (3.7)	1 (4.3)	3 (3.9)	1.000
特に不安や心配を感じたことはない	22 (40.7)	12 (52.2)	34 (44.2)	0.453
<b>認知している相談援助機関</b>				
精神保健福祉センター	33 (26.4)	20 (24.1)	53 (25.5)	0.747
自助グループ(ダルクやNA)	43 (34.4)	21 (25.3)	64 (30.8)	0.172

\*1:いずれかの薬物使用経験のある者を分母とする。

表5.アルコール・薬物の使用状況(年代別)

	~24歳 n=63 n (%)	25~29歳 n=89 n (%)	30~34歳 n=46 n (%)	35歳~ n=10 n (%)	合計 n=208 n (%)	p-value
クラブでの問題飲酒行動(過去1年間)						
イッキ飲みをした	33 (52.4)	42 (47.2)	19 (41.3)	4 (40.0)	98 (47.1)	0.677
フラフラに酔いつぶれた	30 (47.6)	41 (46.1)	21 (45.7)	3 (30.0)	95 (45.7)	0.817
飲み過ぎて、嘔吐した	24 (38.1)	41 (46.1)	19 (41.3)	2 (20.0)	86 (41.3)	0.423
飲み過ぎて、記憶をなくした	25 (39.7)	28 (31.5)	19 (41.3)	5 (50.0)	77 (37.0)	0.462
急性アルコール中毒で、救急車で運ばれた	2 (3.2)	3 (3.4)	1 (2.2)	0 (0.0)	6 (2.9)	1.000
薬物使用経験(生涯)						
大麻	20 (31.7)	32 (36.0)	13 (28.3)	3 (30.0)	68 (32.7)	0.838
MDMA	5 (7.9)	7 (7.9)	5 (10.9)	2 (20.0)	19 (9.1)	0.493
覚せい剤	2 (3.2)	2 (2.2)	2 (4.3)	0 (0.0)	6 (2.9)	0.902
ケタミン	2 (3.2)	5 (5.6)	1 (2.2)	0 (0.0)	8 (3.8)	0.815
有機溶剤	2 (3.2)	3 (3.4)	2 (4.3)	0 (0.0)	7 (3.4)	1.000
コカイン	3 (4.8)	5 (5.6)	4 (8.7)	0 (0.0)	12 (5.8)	0.832
LSD	4 (6.3)	8 (9.0)	4 (8.7)	1 (10.0)	17 (8.2)	0.876
フルニトラゼパム	0 (0.0)	2 (2.2)	1 (2.2)	0 (0.0)	3 (1.4)	0.659
その他	0 (0.0)	5 (5.6)	1 (2.2)	0 (0.0)	6 (2.9)	0.230
いずれかの薬物経験あり	20 (31.7)	39 (43.8)	15 (32.6)	3 (30.0)	77 (37.0)	0.375
薬物使用経験(過去1年間)						
大麻	14 (22.2)	20 (22.5)	7 (15.2)	1 (10.0)	42 (20.0)	0.615
MDMA	0 (0.0)	1 (1.1)	1 (2.2)	0 (0.0)	2 (1.0)	0.695
覚せい剤	0 (0.0)	3 (3.4)	1 (2.2)	0 (0.0)	4 (1.9)	0.487
ケタミン	0 (0.0)	1 (1.1)	1 (2.2)	0 (0.0)	2 (1.0)	0.695
有機溶剤	0 (0.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	1 (10.0)	2 (1.0)	0.022
コカイン	2 (3.2)	3 (3.4)	1 (2.2)	0 (0.0)	6 (2.9)	0.925
LSD	0 (0.0)	4 (4.5)	2 (4.3)	0 (0.0)	6 (2.9)	0.342
フルニトラゼパム	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	—
薬物使用のタイミング(クラブとの関係)*1						
クラブに行く前に使う	12 (60.0)	17 (43.6)	5 (33.3)	1 (33.3)	35 (45.5)	0.443
クラブにいる間に使う	8 (40.0)	14 (35.9)	6 (40.0)	1 (33.3)	29 (37.7)	0.978
クラブで遊んだ後に使う	5 (25.0)	9 (23.1)	3 (20.0)	0 (0.0)	17 (22.1)	1.000
クラブとは関係ないタイミングで使う	10 (50.0)	21 (53.8)	8 (53.3)	1 (33.3)	40 (51.9)	0.929
クラブ内での使用場所*1						
ダンスフロア	4 (20.0)	4 (10.3)	3 (20.0)	1 (33.3)	12 (15.6)	0.385
ラウンジ	1 (5.0)	3 (7.7)	2 (13.3)	0 (0.0)	6 (7.8)	0.786
トイレ	6 (30.0)	7 (17.9)	3 (20.0)	0 (0.0)	16 (20.8)	0.617
個室(VIPルームなど)	2 (10.0)	6 (15.4)	3 (20.0)	0 (0.0)	11 (14.3)	0.807
バーカウンター近辺	0 (0.0)	1 (2.6)	1 (6.7)	0 (0.0)	2 (2.6)	0.480
その他	4 (20.0)	6 (15.4)	3 (20.0)	0 (0.0)	13 (16.9)	0.874
薬物使用に伴うポジティブな症状(生涯)*1						
音が良く聞こえるようになった	12 (60.0)	23 (59.0)	9 (60.0)	1 (33.3)	45 (58.4)	0.872
気分が高まり、テンションが上がった	11 (55.0)	19 (48.7)	6 (40.0)	1 (33.3)	37 (48.1)	0.820
幸せで、穏やかな気持ちになった	9 (45.0)	11 (28.2)	7 (46.7)	0 (0.0)	27 (35.1)	0.259
セックスの快感が高まった	4 (20.0)	13 (33.3)	5 (33.3)	1 (33.3)	23 (29.9)	0.716
薬物使用に伴うネガティブな症状(生涯)*1						
幻覚(幻聴や幻視)が現れた	2 (10.0)	10 (25.6)	3 (20.0)	0 (0.0)	15 (19.5)	0.526
量を使い過ぎて、具合が悪くなった	3 (15.0)	6 (15.4)	4 (26.7)	0 (0.0)	13 (16.9)	0.747
複数の薬物を同時に使って具合が悪くなった	1 (5.0)	2 (5.1)	3 (20.0)	0 (0.0)	6 (7.8)	0.323
アルコールと一緒に使って、具合が悪くなった	2 (10.0)	2 (5.1)	1 (6.7)	0 (0.0)	5 (6.5)	0.861
パニック状態になった	0 (0.0)	1 (2.6)	3 (20.0)	1 (33.3)	5 (6.5)	0.023
薬物使用に対する不安・心配*1						
警察に対する不安	5 (25.0)	12 (30.8)	7 (46.7)	2 (66.7)	26 (33.8)	0.320
周囲の人間の視線に対する不安	3 (15.0)	13 (33.3)	5 (33.3)	2 (66.7)	23 (29.9)	0.189
薬物依存に対する不安	0 (0.0)	5 (12.8)	3 (20.0)	0 (0.0)	8 (10.4)	0.197
離脱症状に対する不安	0 (0.0)	3 (7.7)	2 (13.3)	1 (33.3)	6 (7.8)	0.110
多剤乱用による健康被害に対する不安	0 (0.0)	1 (2.6)	2 (13.3)	0 (0.0)	3 (3.9)	0.259
耐性に対する不安	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (13.3)	0 (0.0)	2 (2.6)	0.073
幻覚や妄想に対する不安	2 (10.0)	1 (2.6)	2 (13.3)	1 (33.3)	6 (7.8)	0.075
アルコールとの併用に対する不安	1 (5.0)	1 (2.6)	1 (6.7)	0 (0.0)	3 (3.9)	0.797
特に不安や心配を感じたことはない	10 (50.0)	18 (46.2)	5 (33.3)	1 (33.3)	34 (44.2)	0.775
認知している相談援助機関						
精神保健福祉センター	15 (23.8)	19 (21.3)	14 (30.4)	5 (50.0)	53 (25.5)	0.203
自助グループ(タルクやNA)	21 (33.3)	26 (29.2)	14 (30.4)	3 (30.0)	64 (30.8)	0.959

\*1:いずれかの薬物使用経験のある者を分母とする。

表6.アルコール・薬物の使用状況(最終学歴別)

	中学校 n=26 n (%)	高校 n=67 n (%)	専門・大学 n=105 n (%)	大学院 n=10 n (%)	合計 n=208 n (%)	p-value
クラブでの問題飲酒行動(過去1年間)						
イッキ飲みをした	12 (46.2)	31 (46.3)	51 (48.6)	4 (40.0)	98 (47.1)	0.953
フラフラに酔いつぶれた	10 (38.5)	33 (49.3)	45 (42.9)	7 (70.0)	95 (45.7)	0.316
飲み過ぎて、嘔吐した	10 (38.5)	26 (38.8)	45 (42.9)	5 (50.0)	86 (41.3)	0.879
飲み過ぎて、記憶をなくした	12 (46.2)	26 (38.8)	35 (33.3)	4 (40.0)	77 (37.0)	0.621
急性アルコール中毒で、救急車で運ばれた	2 (7.7)	2 (3.0)	1 (1.0)	1 (10.0)	6 (2.9)	0.069
薬物使用経験(生涯)						
大麻	12 (46.2)	22 (32.8)	32 (30.5)	2 (20.0)	68 (32.7)	0.399
MDMA	5 (19.2)	5 (7.5)	8 (7.6)	1 (10.0)	19 (9.1)	0.265
覚せい剤	2 (7.7)	3 (4.5)	1 (1.0)	0 (0.0)	6 (2.9)	0.186
ケタミン	3 (11.5)	2 (3.0)	2 (1.9)	1 (10.0)	8 (3.8)	0.076
有機溶剤	4 (15.4)	2 (3.0)	1 (1.0)	0 (0.0)	7 (3.4)	0.015
コカイン	1 (3.8)	5 (7.5)	6 (5.7)	0 (0.0)	12 (5.8)	0.954
LSD	4 (15.4)	3 (4.5)	10 (9.5)	0 (0.0)	17 (8.2)	0.268
フルニトラゼパム	2 (7.7)	1 (1.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.4)	0.037
その他	1 (3.8)	1 (1.5)	4 (3.8)	0 (0.0)	6 (2.9)	0.710
いずれかの薬物経験あり	14 (53.8)	24 (35.8)	36 (34.3)	3 (30.0)	77 (37.0)	0.290
薬物使用経験(過去1年間)						
大麻	9 (34.6)	15 (22.4)	17 (16.2)	1 (10.0)	42 (20.0)	0.155
MDMA	1 (3.8)	1 (1.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.0)	0.310
覚せい剤	1 (3.8)	3 (4.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (1.9)	0.166
ケタミン	0 (0.0)	2 (3.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.0)	0.236
有機溶剤	1 (3.8)	1 (1.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.0)	0.310
コカイン	0 (0.0)	3 (4.5)	2 (1.9)	1 (10.0)	6 (2.9)	0.315
LSD	3 (11.5)	1 (1.5)	2 (1.9)	0 (0.0)	6 (2.9)	0.045
フルニトラゼパム	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	—
薬物使用のタイミング(クラブとの関係)*1						
クラブに行く前に使う	7 (50.0)	9 (37.5)	16 (44.4)	3 (100.0)	35 (45.5)	0.280
クラブにいる間に使う	7 (50.0)	10 (41.7)	12 (33.3)	0 (0.0)	29 (37.7)	0.423
クラブで遊んだ後に使う	6 (42.9)	4 (16.7)	7 (19.4)	0 (0.0)	17 (22.1)	0.229
クラブとは関係ないタイミングで使う	8 (57.1)	12 (50.0)	20 (55.6)	0 (0.0)	40 (51.9)	0.381
クラブ内での使用場所*1						
ダンスフロア	4 (28.6)	4 (16.7)	4 (11.1)	0 (0.0)	12 (15.6)	0.374
ラウンジ	2 (14.3)	3 (12.5)	1 (2.8)	0 (0.0)	6 (7.8)	0.335
トイレ	5 (35.7)	5 (20.8)	6 (16.7)	0 (0.0)	16 (20.8)	0.430
個室(VIPルームなど)	2 (14.3)	3 (12.5)	6 (16.7)	0 (0.0)	11 (14.3)	0.945
バーカウンター近辺	0 (0.0)	1 (4.2)	1 (2.8)	0 (0.0)	2 (2.6)	1.000
その他	4 (28.6)	4 (16.7)	5 (13.9)	0 (0.0)	13 (16.9)	0.575
薬物使用に伴うポジティブな症状(生涯)*1						
音が良く聞こえるようになった	11 (78.6)	13 (54.2)	19 (52.8)	2 (66.7)	45 (58.4)	0.386
気分が高まり、テンションが上がった	5 (35.7)	15 (62.5)	16 (44.4)	1 (33.3)	37 (48.1)	0.367
幸せで、穏やかな気持ちになった	2 (14.3)	10 (41.7)	13 (36.1)	2 (66.7)	27 (35.1)	0.190
セックスの快感が高まった	5 (35.7)	9 (37.5)	8 (22.2)	1 (33.3)	23 (29.9)	0.530
薬物使用に伴うネガティブな症状(生涯)*1						
幻覚(幻聴や幻視)が現れた	4 (28.6)	5 (20.8)	6 (16.7)	0 (0.0)	15 (19.5)	0.685
量を使い過ぎて、具合が悪くなった	3 (21.4)	6 (25.0)	4 (11.1)	0 (0.0)	13 (16.9)	0.456
複数の薬物を同時に使って具合が悪くなった	2 (14.3)	3 (12.5)	1 (2.8)	0 (0.0)	6 (7.8)	0.335
アルコールと一緒に使って、具合が悪くなった	2 (14.3)	1 (4.2)	2 (5.6)	0 (0.0)	5 (6.5)	0.584
パニック状態になった	0 (0.0)	3 (12.5)	2 (5.6)	0 (0.0)	5 (6.5)	0.514
薬物使用に対する不安・心配*1						
警察に対する不安	2 (14.3)	8 (33.3)	14 (38.9)	2 (66.7)	26 (33.8)	0.225
周囲の人間の視線に対する不安	3 (21.4)	7 (29.2)	12 (33.3)	1 (33.3)	23 (29.9)	0.869
薬物依存に対する不安	1 (7.1)	2 (8.3)	3 (8.3)	2 (66.7)	8 (10.4)	0.071
離脱症状に対する不安	1 (7.1)	3 (12.5)	2 (5.6)	0 (0.0)	6 (7.8)	0.800
多剤乱用による健康被害に対する不安	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (5.6)	1 (33.3)	3 (3.9)	0.083
耐性に対する不安	1 (7.1)	0 (0.0)	1 (2.8)	0 (0.0)	2 (2.6)	0.489
幻覚や妄想に対する不安	2 (14.3)	3 (12.5)	1 (2.8)	0 (0.0)	6 (7.8)	0.335
アルコールとの併用に対する不安	1 (7.1)	0 (0.0)	2 (5.6)	0 (0.0)	3 (3.9)	0.492
特に不安や心配を感じたことはない	6 (42.9)	13 (54.2)	15 (41.7)	0 (0.0)	34 (44.2)	0.395
認知している相談援助機関						
精神保健福祉センター	10 (38.5)	16 (23.9)	22 (21.0)	5 (50.0)	53 (25.5)	0.082
自助グループ(ダルクやNA)	13 (50.0)	20 (29.9)	28 (26.7)	3 (30.0)	64 (30.8)	0.159

\*1:いずれかの薬物使用経験のある者を分母とする。

表7.MDMA使用と属性・クラブ利用状況とのクロス集計

	非使用群 n=189 n (%)	MDMA使用群 n=19 n (%)	合計 n=208 n (%)	p-value
性別				0.090
男性	110 (58.2)	15 (78.9)	125 (60.1)	
女性	79 (41.8)	4 (21.1)	83 (39.9)	
年代				0.493
~24歳	58 (30.7)	5 (26.3)	63 (30.3)	
25~29歳	82 (43.4)	7 (36.8)	89 (42.8)	
30~34歳	41 (21.7)	5 (26.3)	46 (22.1)	
35歳~	8 (4.2)	2 (10.5)	10 (4.8)	
最終学歴				0.265
中学校卒業	21 (11.1)	5 (26.3)	26 (12.5)	
高校卒業	62 (32.8)	5 (26.3)	67 (32.2)	
専門・短大・大学卒業	97 (51.3)	8 (42.1)	105 (50.5)	
大学院卒業	9 (4.8)	1 (5.3)	10 (4.8)	
非行行動の履歴(生涯)				
暴力の加害経験	39 (20.6)	13 (68.4)	52 (25.0)	<0.001
暴力の被害経験	49 (25.9)	10 (52.6)	59 (28.4)	0.029
いじめの加害経験	38 (20.1)	12 (63.2)	50 (24.0)	<0.001
いじめの被害経験	46 (24.3)	8 (42.1)	54 (26.0)	0.104
暴走行為	28 (14.8)	10 (52.6)	38 (18.3)	<0.001
万引き	63 (33.3)	16 (84.2)	79 (38.0)	<0.001
器物損壊	27 (14.3)	12 (63.2)	39 (18.8)	<0.001
クラブ利用頻度(過去1年間)				0.635
週に2回以上	40 (21.2)	7 (36.8)	47 (22.6)	
週に1回程度	60 (31.7)	5 (26.3)	65 (31.3)	
月に1回程度	50 (26.5)	4 (21.1)	54 (26.0)	
半年に1回程度	22 (11.6)	3 (15.8)	25 (12.0)	
1年に1回程度	5 (2.6)	0 (0.0)	5 (2.4)	
1年に1回よりも少ない	12 (6.3)	0 (0.0)	12 (5.8)	
オールナイト頻度(過去1年間)				0.827
毎回(100%)	60 (31.7)	8 (42.1)	68 (32.7)	
ほとんど(約90%)	64 (33.9)	5 (26.3)	69 (33.2)	
半分くらいは(約50%)	38 (20.1)	3 (15.8)	41 (19.7)	
たまには(約30%)	16 (8.5)	2 (10.5)	18 (8.7)	
ほとんどしない(約10%)	6 (3.2)	1 (5.3)	7 (3.4)	
一度もない(0%)	5 (2.6)	0 (0.0)	5 (2.4)	
頻繁に利用するクラブの規模				0.264
1,000人以上	13 (6.9)	2 (10.5)	15 (7.2)	
500~1,000人程度	21 (11.1)	2 (10.5)	23 (11.1)	
300~500人程度	25 (13.2)	1 (5.3)	26 (12.5)	
100~300人程度	72 (38.1)	4 (21.1)	76 (36.5)	
100人以下	58 (30.7)	10 (52.6)	68 (32.7)	
個室のあるクラブの利用経験				0.050
ある	157 (83.1)	19 (100.0)	176 (84.6)	
ない	32 (16.9)	0 (0.0)	32 (15.4)	
個室利用(VIPルームなど)				0.095
ある	100 (52.9)	14 (73.7)	114 (54.8)	
ない	89 (47.1)	5 (26.3)	94 (45.2)	
クラブ利用目的(複数回答)				
好きな音楽を楽しむため	136 (72.0)	15 (78.9)	151 (72.6)	0.601
気の合う友達や仲間と会うため	89 (47.1)	11 (57.9)	100 (48.1)	0.472
ダンスを楽しむため	76 (40.2)	8 (42.1)	84 (40.4)	1.000
新しい出会いを求めて	29 (15.3)	5 (26.3)	34 (16.3)	0.207
ナンパするため(されるため)	20 (10.6)	2 (10.5)	22 (10.6)	1.000
お酒を飲むため	50 (26.5)	7 (36.8)	57 (27.4)	0.418
日常生活とは違う雰囲気を楽しむため	35 (18.5)	3 (15.8)	38 (18.3)	1.000
ストレス解消のため	46 (24.3)	7 (36.8)	53 (25.5)	0.270
自分自身がパフォーマンスをするため	37 (19.6)	4 (21.1)	41 (19.7)	1.000
その他の目的	12 (6.3)	3 (15.8)	15 (7.2)	0.145



表8.MDMA使用とアルコール・薬物関連項目とのクロス集計

	非使用群 n=189 n (%)	MDMA使用群 n=19 n (%)	合計 n=208 n (%)	p-value
クラブでの問題飲酒行動(過去1年間)				
イッキ飲みをした	86 (45.5)	12 (63.2)	98 (47.1)	0.156
フラフラに酔いつぶれた	82 (43.4)	13 (68.4)	95 (45.7)	0.052
飲み過ぎて、嘔吐した	76 (40.2)	10 (52.6)	86 (41.3)	0.334
飲み過ぎて、記憶をなくした	65 (34.4)	12 (63.2)	77 (37.0)	0.023
急性アルコール中毒で、救急車で運ばれた	5 (2.6)	1 (5.3)	6 (2.9)	0.441
薬物使用経験(生涯)				
大麻	49 (25.9)	19 (100.0)	68 (32.7)	<0.001
覚せい剤	1 (0.5)	5 (26.3)	6 (2.9)	<0.001
ケタミン	2 (1.1)	6 (31.6)	8 (3.8)	<0.001
有機溶剤	3 (1.6)	4 (21.1)	7 (3.4)	0.001
コカイン	3 (1.6)	9 (47.4)	12 (5.8)	<0.001
LSD	5 (2.6)	12 (63.2)	17 (8.2)	<0.001
フルニトラゼパム	1 (0.5)	2 (10.5)	3 (1.4)	0.023
その他	5 (2.6)	1 (5.3)	6 (2.9)	0.441
いずれかの薬物経験あり	58 (30.7)	19 (100.0)	77 (37.0)	<0.001
薬物使用経験(過去1年間)				
大麻	33 (17.5)	9 (47.4)	42 (20.2)	0.005
覚せい剤	3 (1.6)	1 (5.3)	4 (1.9)	0.320
ケタミン	1 (0.5)	1 (5.3)	2 (1.0)	0.175
有機溶剤	2 (1.1)	0 (0.0)	2 (1.0)	1.000
コカイン	3 (1.6)	3 (15.8)	6 (2.9)	0.011
LSD	3 (1.6)	3 (15.8)	6 (2.9)	0.011
フルニトラゼパム	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	—
薬物使用のタイミング(クラブとの関係)*1				
クラブに行く前に使う	20 (34.5)	15 (78.9)	35 (45.5)	0.001
クラブにいる間に使う	19 (32.8)	10 (52.6)	29 (37.7)	0.173
クラブで遊んだ後に使う	10 (17.2)	7 (36.8)	17 (22.1)	0.109
クラブとは関係ないタイミングで使う	30 (51.7)	10 (52.6)	40 (51.9)	1.000
クラブ内での使用場所*1				
ダンスフロア	4 (6.9)	8 (42.1)	12 (15.6)	0.001
ラウンジ	1 (1.7)	5 (26.3)	6 (7.8)	0.003
トイレ	8 (13.8)	8 (42.1)	16 (20.8)	0.019
個室(VIPルームなど)	7 (12.1)	4 (21.1)	11 (14.3)	0.449
バーカウンター近辺	0 (0.0)	2 (10.5)	2 (2.6)	0.058
その他	9 (15.5)	4 (21.1)	13 (16.9)	0.725
薬物使用に伴うポジティブな症状(生涯)*1				
音が良く聞こえるようになった	31 (53.4)	14 (73.7)	45 (58.4)	0.180
気分が高まり、テンションが上がった	26 (44.8)	11 (57.9)	37 (48.1)	0.429
幸せで、穏やかな気持ちになった	18 (31.0)	9 (47.4)	27 (35.1)	0.268
セックスの快感が高まった	15 (25.9)	8 (42.1)	23 (29.9)	0.248
薬物使用に伴うネガティブな症状(生涯)*1				
幻覚(幻聴や幻視)が現れた	8 (13.8)	7 (36.8)	15 (19.5)	0.043
量を使い過ぎて、具合が悪くなった	5 (8.6)	8 (42.1)	13 (16.9)	0.002
複数の薬物を同時に使って具合が悪くなった	0 (0.0)	6 (31.6)	6 (7.8)	<0.001
アルコールと一緒に使って、具合が悪くなった	1 (1.7)	4 (21.1)	5 (6.5)	0.012
パニック状態になった	1 (1.7)	4 (21.1)	5 (6.5)	0.012
薬物使用に対する不安・心配*1				
警察に対する不安	18 (31.0)	8 (42.1)	26 (33.8)	0.411
周囲の人間の視線に対する不安	18 (31.0)	5 (26.3)	23 (29.9)	0.780
薬物依存に対する不安	6 (10.3)	2 (10.5)	8 (10.4)	1.000
離脱症状に対する不安	1 (1.7)	5 (26.3)	6 (7.8)	0.003
多剤乱用による健康被害に対する不安	1 (1.7)	2 (10.5)	3 (3.9)	0.149
耐性に対する不安	1 (1.7)	1 (5.3)	2 (2.6)	0.435
幻覚や妄想に対する不安	2 (3.4)	4 (21.1)	6 (7.8)	0.030
アルコールとの併用に対する不安	1 (1.7)	2 (10.5)	3 (3.9)	0.149
特に不安や心配を感じたことはない	27 (46.6)	7 (36.8)	34 (44.2)	0.596
認知している相談援助機関				
精神保健福祉センター	45 (23.8)	8 (42.1)	53 (25.5)	0.098
自助グループ(ダルクやNA)	56 (29.6)	8 (42.1)	64 (30.8)	0.299

\*1: いずれかの薬物使用経験のある者を分母とする。

表10.クラブ内の個室利用経験と属性・クラブ利用状況とのクロス集計

	個室利用あり n=114 n (%)	個室利用なし n=94 n (%)	合計 n=208 n (%)	p-value
性別				0.034
男性	61 (53.5)	64 (68.1)	125 (60.1)	
女性	53 (46.5)	30 (31.9)	83 (39.9)	
年代				0.104
～24歳	30 (26.3)	33 (35.1)	63 (30.3)	
25～29歳	46 (40.4)	43 (45.7)	89 (42.8)	
30～34歳	30 (26.3)	16 (17.0)	46 (22.1)	
35歳～	8 (7.0)	2 (2.1)	10 (4.8)	
最終学歴				0.098
中学校卒業	20 (17.5)	6 (6.4)	26 (12.5)	
高校卒業	34 (29.8)	33 (35.1)	67 (32.2)	
専門・短大・大学卒業	54 (47.4)	51 (54.3)	105 (50.5)	
大学院卒業	6 (5.3)	4 (4.3)	10 (4.8)	
非行行動の履歴(生涯)				
暴力の加害経験	34 (29.8)	18 (19.1)	52 (25.0)	0.080
暴力の被害経験	42 (36.8)	17 (18.1)	59 (28.4)	0.003
いじめの加害経験	30 (26.3)	20 (21.3)	50 (24.0)	0.420
いじめの被害経験	35 (30.7)	19 (20.2)	54 (26.0)	0.112
暴走行為	24 (21.1)	14 (14.9)	38 (18.3)	0.283
万引き	48 (42.1)	31 (33.0)	79 (38.0)	0.198
器物損壊	27 (23.7)	12 (12.8)	39 (18.8)	0.051
クラブ利用頻度(過去1年間)				0.010
週に2回以上	33 (28.9)	14 (14.9)	47 (22.6)	
週に1回程度	38 (33.3)	27 (28.7)	65 (31.3)	
月に1回程度	29 (25.4)	25 (26.6)	54 (26.0)	
半年に1回程度	10 (8.8)	15 (16.0)	25 (12.0)	
1年に1回程度	2 (1.8)	3 (3.2)	5 (2.4)	
1年に1回よりも少ない	2 (1.8)	10 (10.6)	12 (5.8)	
オールナイト頻度(過去1年間)				0.010
毎回(100%)	43 (37.7)	25 (26.6)	68 (32.7)	
ほとんど(約90%)	40 (35.1)	29 (30.9)	69 (33.2)	
半分くらいは(約50%)	23 (20.2)	18 (19.1)	41 (19.7)	
たまには(約30%)	7 (6.1)	11 (11.7)	18 (8.7)	
ほとんどしない(約10%)	1 (0.9)	6 (6.4)	7 (3.4)	
一度もない(0%)	0 (0.0)	5 (5.3)	5 (2.4)	
頻繁に利用するクラブの規模				0.123
1,000人以上	10 (8.8)	5 (5.3)	15 (7.2)	
500～1,000人程度	10 (8.8)	13 (13.8)	23 (11.1)	
300～500人程度	14 (12.3)	12 (12.8)	26 (12.5)	
100～300人程度	49 (43.0)	27 (28.7)	76 (36.5)	
100人以下	31 (27.2)	37 (39.4)	68 (32.7)	
クラブ利用目的(複数回答)				
好きな音楽を楽しむため	88 (77.2)	63 (67.0)	151 (72.6)	0.119
気の合う友達や仲間と会うため	59 (51.8)	41 (43.6)	100 (48.1)	0.226
ダンスを楽しむため	50 (43.9)	34 (36.2)	84 (40.4)	0.320
新しい出会いを求めて	23 (20.2)	11 (11.7)	34 (16.3)	0.132
ナンパするため(されるため)	12 (10.5)	10 (10.6)	22 (10.6)	1.000
お酒を飲むため	37 (32.5)	20 (21.3)	57 (27.4)	0.086
日常生活とは違う雰囲気を楽しむため	19 (16.7)	19 (20.2)	38 (18.3)	0.590
ストレス解消のため	29 (25.4)	24 (25.5)	53 (25.5)	1.000
自分自身がパフォーマンスをするため	28 (24.6)	13 (13.8)	41 (19.7)	0.056
その他の目的	8 (7.0)	7 (7.4)	15 (7.2)	1.000

表11.クラブ内の個室利用経験とアルコール・薬物関連項目とのクロス集計

	個室利用あり	個室利用なし	合計	p-value
	n=114 n (%)	n=94 n (%)	n=208 n (%)	
<b>クラブでの問題飲酒行動(過去1年間)</b>				
イッキ飲みをした	67 (58.8)	31 (33.0)	98 (47.1)	<0.001
フラフラに酔いつぶれた	57 (50.0)	38 (40.4)	95 (45.7)	0.208
飲み過ぎて、嘔吐した	54 (47.4)	32 (34.0)	86 (41.3)	0.066
飲み過ぎて、記憶をなくした	55 (48.2)	22 (23.4)	77 (37.0)	<0.001
急性アルコール中毒で、救急車で運ばれた	3 (2.6)	3 (3.2)	6 (2.9)	1.000
<b>薬物使用経験(生涯)</b>				
大麻	48 (42.1)	20 (21.3)	68 (32.7)	0.002
MDMA	14 (12.3)	5 (5.3)	19 (9.1)	0.095
覚せい剤	4 (3.5)	2 (2.1)	6 (2.9)	0.692
ケタミン	4 (3.5)	4 (4.3)	8 (3.8)	1.000
有機溶剤	6 (5.3)	1 (1.1)	7 (3.4)	0.131
コカイン	9 (7.9)	3 (3.2)	12 (5.8)	0.232
LSD	12 (10.5)	5 (5.3)	17 (8.2)	0.209
フルニトラゼパム	2 (1.8)	1 (1.1)	3 (1.4)	1.000
その他	2 (1.8)	4 (4.3)	6 (2.9)	0.413
いずれかの薬物経験あり	51 (44.7)	26 (27.7)	77 (37.0)	0.014
<b>薬物使用経験(過去1年間)</b>				
大麻	31 (27.2)	11 (11.7)	42 (20.2)	0.006
MDMA	2 (1.8)	0 (0.0)	2 (1.0)	0.502
覚せい剤	2 (1.8)	2 (2.1)	4 (1.9)	1.000
ケタミン	2 (1.8)	0 (0.0)	2 (1.0)	0.502
有機溶剤	2 (1.8)	0 (0.0)	2 (1.0)	0.502
コカイン	2 (1.8)	4 (4.3)	6 (2.9)	0.413
LSD	4 (3.5)	2 (2.1)	6 (2.9)	0.692
フルニトラゼパム	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	—
<b>薬物使用のタイミング(クラブとの関係)*1</b>				
クラブに行く前に使う	23 (45.1)	12 (46.2)	35 (45.5)	1.000
クラブにいる間に使う	20 (39.2)	9 (34.6)	29 (37.7)	0.805
クラブで遊んだ後に使う	13 (25.5)	4 (15.4)	17 (22.1)	0.392
クラブとは関係ないタイミングで使う	26 (51.0)	14 (53.8)	40 (51.9)	1.000
<b>クラブ内での使用場所*1</b>				
ダンスフロア	8 (15.7)	4 (15.4)	12 (15.6)	1.000
ラウンジ	5 (9.8)	1 (3.8)	6 (7.8)	0.657
トイレ	10 (19.6)	6 (23.1)	16 (20.8)	0.771
個室(VIPルームなど)	10 (19.6)	1 (3.8)	11 (14.3)	0.087
バーカウンター近辺	1 (2.0)	1 (3.8)	2 (2.6)	1.000
その他	11 (21.6)	2 (7.7)	13 (16.9)	0.199
<b>薬物使用に伴うポジティブな症状(生涯)*1</b>				
音が良く聞こえるようになった	31 (60.8)	14 (53.8)	45 (58.4)	0.629
気分が高まり、テンションが上がった	27 (52.9)	10 (38.5)	37 (48.1)	0.335
幸せで、穏やかな気持ちになった	17 (33.3)	10 (38.5)	27 (35.1)	0.801
セックスの快感が高まった	18 (35.3)	5 (19.2)	23 (29.9)	0.191
<b>薬物使用に伴うネガティブな症状(生涯)*1</b>				
幻覚(幻聴や幻視)が現れた	9 (17.6)	6 (23.1)	15 (19.5)	0.560
量を使い過ぎて、具合が悪くなった	9 (17.6)	4 (15.4)	13 (16.9)	1.000
複数の薬物を同時に使って具合が悪くなった	4 (7.8)	2 (7.7)	6 (7.8)	1.000
アルコールと一緒に使って、具合が悪くなった	3 (5.9)	2 (7.7)	5 (6.5)	1.000
パニック状態になった	4 (7.8)	1 (3.8)	5 (6.5)	0.657
<b>薬物使用に対する不安・心配*1</b>				
警察に対する不安	20 (39.2)	6 (23.1)	26 (33.8)	0.206
周囲の人間の視線に対する不安	18 (35.3)	5 (19.2)	23 (29.9)	0.191
薬物依存に対する不安	7 (13.7)	1 (3.8)	8 (10.4)	0.254
離脱症状に対する不安	4 (7.8)	2 (7.7)	6 (7.8)	1.000
多剤乱用による健康被害に対する不安	2 (3.9)	1 (3.8)	3 (3.9)	1.000
耐性に対する不安	2 (3.9)	0 (0.0)	2 (2.6)	0.547
幻覚や妄想に対する不安	5 (9.8)	1 (3.8)	6 (7.8)	0.657
アルコールとの併用に対する不安	2 (3.9)	1 (3.8)	3 (3.9)	1.000
特に不安や心配を感じたことはない	21 (41.2)	13 (50.0)	34 (44.2)	0.478
<b>認知している相談援助機関</b>				
精神保健福祉センター	37 (32.5)	16 (17.0)	53 (25.5)	0.016
自助グループ(ダルクやNA)	40 (35.1)	24 (25.5)	64 (30.8)	0.174

\*1:いずれかの薬物使用経験のある者を分母とする。

研究成果の刊行に関する一覧表

雑 誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
和田 清, <u>嶋根卓也</u> , 船田正彦 :	わが国における薬物乱用・依存の最近の特徴.	日本社会精神医学雑誌	20(4)	407-414	2011.
<u>K. Tomiyama, M. Funada:</u>	Cytotoxicity of synthetic cannabinoids found in "Spice" products: the role of cannabinoid receptors and the caspase cascade in the NG 108-15 cell line.	Toxicol Lett.	207(1)	12-17	2011.
船田正彦	大麻の薬理作用と薬物依存性.	医薬ジャーナル	46	85-89	2010
船田正彦	合成カンナビノイド誘導体の薬理学的特性とその乱用について.	日本アルコール・薬物医学会雑誌	45(3)	167-174	2010
Ogawa, D., <u>Asanuma, M.</u> , Miyazaki, I., Tachibana, H., Wada, J., Sogawa, N., Sugaya, T., Kitamura, S., Maeshima, Y., Shikata, K. and Makino, F.	High glucose increases metallothionein expression in renal proximal tubular epithelial cells.	Exp. Diabetes Res.	2011	534872	2011
Takeshima, M., Murata, M., Urasoe, N., Murakami, S., Miyazaki, I., <u>Asanuma, M.</u> and Kita, T.	Protective effects of baicalein against excess L-DOPA-induced dopamine quinone neurotoxicity.	Neurol. Res.	33	1050-1056	2011
Ishida, S., Kawasaki, Y., Araki, H., <u>Asanuma, M.</u> , Matsunaga, H., Sendo, T., Kawasaki, H., Gomita, Y. and Kitamura, Y.	Alpha7 nicotinic acetylcholine receptors in the central amygdaloid nucleus alter naloxone-induced withdrawal following a single exposure to morphine.	Psychopharmacology	214	923-931	2011
Kitamura, Y., Doi, M., Kuwatsuka, K., Onoue, Y., Miyazaki, I., Shinomiya, K., Koyama, T., Sendo, T., Kawasaki,	Chronic treatment with imipramine and lithium increases cell proliferation in the hippocampus in adrenocorticotrophic	Biol. Pharm. Bull.	34	77-81	2011

H., <u>Asanuma, M.</u> and Gomita, Y.	hormone-treated rats.				
Miyazaki, I., <u>Asanuma, M.</u> , Kikkawa, Y., Takeshima, M., Murakami, S., Miyoshi, K., Sogawa, N. and Kita, T.	Astrocyte-derived metallothionein protects dopaminergic neurons from dopamine quinone toxicity.	Glia	59	435-451	2011
<u>嶋根卓也</u>	薬剤師から見た向精神薬の過量服薬	精神科治療学	27(1)	87-93	2012
松本俊彦、 <u>嶋根卓也</u> 、尾崎茂、小林桜児、和田清	乱用・依存の危険性の高いベンゾジアゼピン系薬剤同定の試み	精神医学	54(2)	201-209	2012
<u>嶋根卓也</u>	思春期における薬物乱用の実態と予防	思春期学	29(1)	13-18	2011
<u>嶋根卓也</u>	思春期における薬物乱用の実態と対策,	産婦人科治療	103(2)	144-150	2011
<u>嶋根卓也</u>	「薬物依存」Q&A 集 Q1 麻薬とは、どういうものでしょうか？麻薬の語源は、何ですか？	こころのりんしょう a・la・carte	29(1)	7	2010
<u>嶋根卓也</u>	「薬物依存」Q&A集 Q2覚せい剤とは、どのようなものですか？麻薬ではないのですか？いろいろな俗称もあるようですが？	こころのりんしょう a・la・carte	29(1)	8	2010
<u>嶋根卓也</u>	「薬物依存」Q&A集 Q3アヘンとは、何ですか？けし、ヘロイン、モルヒネなども同じ種類に属するのでしょうか？,	こころのりんしょう a・la・carte	29(1)	9	2010
<u>嶋根卓也</u>	「薬物依存」Q&A集 Q4コカインは、どのような薬物ですか？,	こころのりんしょう a・la・carte	29(1)	10	2010
<u>嶋根卓也</u>	アディクション 薬物乱用・依存	Journal of Integrated Medicine	20(5)	356-359	2010
森田展彰、 <u>嶋根卓也</u>	薬物依存症—薬物依存症のトレンドー幻覚剤	日本臨牀	68(8)	1486-1493	2010

<u>嶋根卓也</u>	薬物依存症－薬物依存症のトレンド－薬物依存症の予防・防止の社会的取り組み	日本臨牀	68(8)	1531-1535,	2010
<u>嶋根卓也</u>	思春期の薬物乱用の現状と課題	思春期学	28(3)	267-272	2010

